

平成30年度第2回東成区区政会議 保健福祉部会

1 開催日時 平成30年12月4日（火） 19時20分から20時47分

2 開催場所 東成区役所3階304・305会議室

3 出席者の氏名

【委員】

石塚 克哉（議長）、林 正則（副議長）、石川 洋志、大谷 慶子、北村 旺加子、
徳永 政喜、羽鹿 誠一、本間 良文、森井 フミ子

【東成区役所】

西山 明子（保健福祉課長）、世古 美弥子（保健福祉課長代理）、北野 紀子（児童・
保健担当課長）、辻 真司（保健福祉課担当係長）、細山 博文（保健福祉課担当係長）、
大川 真吾（保健福祉課担当係長）、後藤 美里（総合企画担当課長代理）

4 委員に意見を求めた事項

平成31年度東成区運営方針（素案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

【後藤課長代理】 皆さん、こんばんは。それでは、始めさせていただきます。本日はお忙しい中、東成区区政会議保健福祉部会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。私は、進行を務めさせていただきます東成区役所総合企画担当の後藤でございます。よろしく願いいたします。それでは、早速始めてまいりたいと思います。

まず、冒頭に、区長の麻野よりご挨拶をさせていただきます。

【麻野区長】 改めまして、区長の麻野です。よろしく願いいたします。皆様方におかれましては、平素より市政、区政の各般にわたりまして、格別なご配慮、本当にありがとうございます。また、つい先日、11月23日に2025年の万博大阪開催が、本当に皆様方のご支援、ご協力のおかげをもちまして、無事大阪開催が決定いたしました。本当にありがとうございます。万博は2025年でちょっと先なんですけれども、それに向けて、大阪市と

しましても万全を尽くして準備に取り組んでまいりたいと考えている次第でございますので、またひとつよろしくお願ひしたいと思っております。

この万博なんですけれども、開催の目的としまして、SDGsというのが掲げられております。私も今日、バッジを付けてきておるんですけれども、これがちょっと難しいんですけれども、英語で「サステイナブル・ディベロップメント・ゴールズ」という、長いので覚えていただかなくて結構なんですけれども、日本語に訳すと「持続可能な開発目標」と申します。これは私たちが普段議論して取り組んでいるいろいろな社会課題を17の項目に分けたものでございまして、保健福祉ですとか子育て、教育、防犯、防災、あるいは環境問題、産業振興とこういったことが17の項目に分かれているんですけれども、万博においては、こういったいろいろな課題に日本の、例えばテクノロジーですとか、市民、区民の方のコミュニティの強さ、こういうのをもってオールジャパンでしっかりと取り組んでいるということを世界に示していく。世界においても同じような問題がございますので、ぜひ日本のまねをしてじゃないですけれども、日本の事例をきちんと我々は世界に示しながら、そういう万博という場で皆さんと議論していこうと、こういうのが万博の開催目的になっております。

その中にも当然、保健福祉というテーマが重要な社会課題として入っております、皆様方が普段から、例えば、こういう場で議論していただいていることがすなわちSDGsにつながりますし、万博の中身の支援にもつながっていくという考えでおりますので、ぜひご議論をお願いしたいと思っております。

今日は、平成31年度の運営方針というものについてコメントをいただくんですけれども、本当の運営方針はちっちゃい字いっぱい書いてあるので、今日は、お配りした資料の中の大きな資料3という紙があると思うんですけれども、そちらでご説明をさせていただきます。この中で裏側をめくっていただくと、皆さんにご議論いただく③ですね。福祉健康というところでございまして、ここの右側に四角の3番と17番というのがついていまして、ちょっとちっちゃい字で申し訳ないんですけれども、この3番が福祉健康を皆で頑張っていきましょうというマークになっております。

東成区におきましては、上が高齢者福祉、下の欄が健康増進ということで2つのテーマに分けて施策を進めさせていただいているところでございます。詳しくは後ほど課長から説明がありますので、お聞きいただきたいと思いますと思うんですけれども、今日は、私からはこういった日々の課題も2025年の万博につながっているんだよ、あるいは、SDGsで世界と

つながっているんだよということをちょっとお話させていただいて、また議論を活発にしたいと思っています。ちょっと今日は人数が少ないんですけども、その分、皆さんお一人お一人からの意見をしっかりとお聞きして、また区政に取り組んでいきたいと思っていますので、議論のほう、よろしく願いいたします。どうもありがとうございます。

【後藤課長代理】 それでは、本日の開催状況につきましては、ご出席予定の皆様がそろわれましたらご報告申し上げたいと思います。

次に、本部会の公開についてですが、区政会議に準じまして公開となっております、議事録や写真等についてもホームページ等で公開していく予定でございます。その点、ご理解のほど、お願いいたします。

もう1点お願いでございます。携帯電話につきましては、電源をお切りいただくか、マナーモードにさせていただきますようお願い申し上げます。

また、本日の出席者につきましては、机上に配付しております資料1、配席図のとおりとなっております。

続きまして、資料の確認をさせていただきます。まず、事前にお送りしました資料は4種類でございます。資料3としまして「平成31年度東成区運営方針（素案）及び概要版」です。次に、資料4としまして「平成30年度区政会議における意見への対応状況」です。

そのほか、「平成30年度東成区区政会議質問・意見票」とクリップ留めをしております「平成30年度東成区区政会議委員アンケートについて」でございます。このアンケートにつきましては、区政会議の効果的な運営を行うために、毎年、区政会議委員を対象に実施しているものでございます。まだ、ご記入がお済みでない方は、お帰りまでにご記入いただきますようお願いいたします。

次に、本日、机上に配布しております追加資料が4種類ございます。次第と、資料1として「配席図」、資料2「東成区区政会議委員名簿」です。4点目は、資料5「平成29年度東成区区政会議委員評価報告について」で、以上4種類でございます。皆様、資料の不足はございませんでしょうか。

ここで、資料5「平成29年度東成区区政会議委員評価報告について」の補足説明をさせていただきます。こちらは、6月の区政会議で実施いたしました昨年度1年間の東成区の区政運営に対する、委員の皆様から頂戴しました委員評価の集約結果でございます。結果としましては、ざっくり申し上げますと、委員の82%の皆様より、東成区の5つの経営課題に基づく取組みが区の目指す目標の実現に対して「有効だと思う、やや思う」という回

答をいただきました。一方、委員の12%の皆様からは、「有効であるとはあまり思わない、思わない」という厳しい回答を得ております。いただきました委員の皆様方からのご意見をしっかり受けとめ、今後の区政運営に反映させてまいりますので、引き続きのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、石塚部会議長に今後の議事運営をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【石塚議長】 皆さん、こんばんは。石塚です。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。ちょっと座らせていただきます。

この部会は、地域福祉と健康づくりの充実、推進にかかわって、皆様方が意見や提案を述べる会議ということになっています。前回、区政会議で出された意見については、できるものから区政運営への反映を行い、本日の議題であります「平成31年度東成区運営方針（素案）」に反映していると伺っております。31年度運営方針は、区政会議で出された意見や市会での議論などを踏まえて、平成31年4月に確定するようです。本日も皆様から前向きなご意見をいただき、有意義な会議にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これから、20時30分までの55分のうち初めの15分は区役所からの説明です。その後、19時50分から20時20分までは自由な意見交換の時間とします。そして、20時20分から部会意見をまとめます。

それでは、資料3「平成31年度東成区運営方針（素案）概要」というA3版の写真入りの資料をごらんください。こちらに沿って区役所よりご説明いただきます。お願いします。

【西山課長】 皆さん、こんばんは。保健福祉課長の西山です。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

そうしましたら、右肩に資料3と書いてありますA3の横長の資料です。一枚物の資料ですね。「平成31年度東成区運営方針（素案）概要」となっております。資料について、裏面になりますが、③の「地域福祉と健康づくりの充実・推進」の部分をご覧ください。私からはそのうち1点目ですね。黒ダイヤになっていますが、「住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくり」について、ご説明をさせていただきます。

区民の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活できる状態をめざしまして、引き続き関係機関や地域の皆様とともに、地域における支え合い活動が充実するなど、地域福祉を一層推進してまいりたいと考えております。地域福祉の推進に当たりましては、ポツで書か

せていただいていますのが主な具体的な取組みということになっておりますが、まず、おまもりネット事業を1つのツールとしまして、地域の関係者同士がつながり、地域福祉活動がつながり、そして、地域のつながりの場が広がるように取り組んでまいりたいと考えております。

まず、そのために、そのキーパーソンとも言えます、各校下の地域福祉活動サポーターを継続して、配置をしてまいりたいと考えております。そして、いざというときに安心のおまもりネット手帳やカードをより多くの方に持っていただけるように、効果的な周知を進めますとともに、数ではなくて中身、質ということのご意見もいただいておりますが、より使いやすい手帳への変更であるとか、関係者の方々に有効に活用していただけるような取組みなんかも進めていきたいと考えております。もう既に今年度の受託者であります東成区の社会福祉協議会さんが中心となりまして、関係者や地域の方々のご意見を踏まえながら、より使いやすいと言いますか、手帳の変更をはじめとして、このおまもりネット手帳、あるいはおまもりネット事業が有効に進めていけるような工夫、検討もしていただいているところです。

また、地域福祉活動の推進としまして、今、特に地域の各11校区の中でもさまざまな取組みが進められております。特に食事サービスであるとかふれあい喫茶といった場で、その場が地域のつながりの場になっていて、皆さんのいざという時の安心を発見できる場にもなっております。また、そこへ参画することで、より健康な状態であるとか、そういった地域の皆さんとつながっていただける場を継続するとともに、それを担っていただく、担い手側の地域人材の育成にもつながっている場がございます。こういった取組みが継続して進められるよう、バックアップしてまいりたいと考えております。

そして、さまざまな取組みの目的と言いますか、進めていく中で、やはり、支援を必要としている方にきちんと個別に支援が届くであるとか、そういったことが主な目的で、きちんと必要な方に必要な支援が届くということが重要かと考えておりますので、今回、このおまもりネット事業の関連の事業につきましても、また後ほど見ていただいたらいいんですが、例えば、運営方針の中の目標設定についても、おまもりネット事業の新規登録者数を増やすというだけでなく、個別支援、要支援者への支援を進めていこうということで、その件数を目標に設定をするという形で、より必要な方に必要な支援が届くような地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

すみません、簡単ですが、事業の説明、主な取組みということになっておりますが、説

明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【石塚議長】 はい、ありがとうございます。

ここでちょっと開催状況の報告をお願いします。

【後藤課長代理】 説明の途中で失礼いたします。本日の開催状況でございますが、委員15名中9名のご出席をいただいております。したがって、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして、本部会が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。ありがとうございます。

【石塚議長】 ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明を受けて、皆さんからご質問やご意見をいただいております。なお、意見を整理するため、ホワイトボードに板書して共有しますので、区役所の方々、サポートをよろしくお願いいたします。

今からは、先ほども申し上げた勉強会ですので、自由に意見を言っていただく時間です。この後、20時20分からいただいた意見を整理して、部会からの意見ということで、皆さんに確認しつつ、まとめたいと思いますので、よろしくお願いいたします。どなたからでも構いませんので、何かご質問やご意見はございませんか。

【西山課長】 議長、すみません。ちょっと最後のまとめの言い方が、つながが悪かったので、1つ目の地域での安心して生活できるまちづくりだけ、今ご説明させていただいたんですが、それで意見のやりとりしてもいいですし、2つ目に健康福祉の部分がありましたので、そちらを説明させていただいてよろしいですか。すみません。

【石塚議長】 あ、ごめんなさい。そしたら、次のも先、やっといってもらって。

【西山課長】 先にご説明させていただきます。申し訳ありません。

【石塚議長】 ごめんなさい。

【西山課長】 こちらこそすみません。

【北野課長】 児童保健担当の北野と申します。よろしくお願いいたします。ちょっと座って説明させていただきます。

先ほどの資料3の西山課長が説明した下段の部分になります。「区民が主体的に健康づくりに取り組める環境づくり」になります。31年度、来年度につきましても、引き続きまして、ライフステージに応じた健康づくりの事業に取り組んでまいりたいと考えております。

まず、健康づくりの基本になります食育についてです。29年度、東成区の中学生の朝食欠食率が10.6%。10人に1人が朝御飯を食べずに登校しているという状況も踏まえまして、

子どものころから朝食を食べるという習慣づけが非常に大切になりますので、引き続き小中学生を対象に食育事業を東成区の食生活改善推進協議会の協力を得ながら実施してまいりたいと考えております。

2つ目ですが、また、壮年期から高齢者までを対象に、今度は百歳体操に一本でするのではなくて、食事も含めた健康づくりについての講演会を、今のところ、6月ごろに開催していきたいと考えております。さらに高齢者対象には、いつまでも健康で住みなれたまちに住み続けていただけるように地域など住民の方が主体となって継続して身近な場所で健康づくりに取り組んでいただけるよう、いきいき百歳体操の実施支援を行っており、現在も老人福祉センターを含め老人憩の家など地域で18カ所、週21回、延べ518人の方が継続実施していただいているところなんですけれども、その継続実施を支援しますとともに、まだまだ高齢人口ありますので、新規場所の開拓に来年度取り組んでいきたいと考えております。継続実施場所につきましては、理学療法士の派遣であったりとか、体力測定、百歳体操手帳の配付などを参加者の方のモチベーションが維持できるような支援、取組みを行っていきたいと考えております。また、身近なところで百歳体操ができるということと、地域の方々とのつながりの場にもなるように、さまざまな場所とか機会をちょっと開拓しながら百歳体操の継続実施の働きかけを実施してまいりたいと考えております。

簡単になりますが、私からは以上です。

【石塚議長】 はい、ありがとうございます。

そしたら、2つ説明があったところで、質問やご意見をいただきたいと思います。今からは、先ほども申し上げた勉強会ですので、自由に意見を言っていただく時間です。この後、20時20分からいただいた意見を整理して、部会からの意見ということで、皆さんに確認しつつ、まとめたいと思いますので、よろしくお願いします。どなたからでも構いませんので、何かご質問やご意見はございませんか。

<部会での自由な意見交換>

【石塚議長】 ありがとうございます。それでは、ただ今をもちまして、勉強会を終了します。冒頭に申し上げましたとおり、これから議事の記録を再開し、部会からの意見としてまとめに移っていききたいと思います。

それでは、ホワイトボードの板書内容をご覧ください。字がちっちゃいから見えるかな。

部会報告として出された意見のうち、部会報告として取り上げたいものについてマークをつけていきます。1人一言ずつご発言をお願いします。どちらからまいりましょう。森井委員から。

【森井委員】 何を言ったらええんかな。

【石塚議長】 取り上げたいもの。

【森井委員】 取り上げたいもの。やっぱり、私は食育の関係ですので、やはり、朝御飯食べないかんいうことでお母さん方にも知っていただきたいですけども、小学校、中学校の食育いうことで、そこにどう書いていただいているのか、見えませんのでわかりませんけれども、大切いうことを。

【石塚議長】 小中学校での食育の大切さを。

【森井委員】 大切さいうことを皆さんにわかっていただきたいということ。

【石塚議長】 わかってもらいたいと。はい、ありがとうございます。

そしたら、本間委員。

【本間委員】 ちょっと待ってくださいね。どれを言おうかな思うて。

【石塚議長】 それじゃ、ちょっと後にしましょうか。考えてください。

【本間委員】 はい。

【石塚議長】 そしたら、羽鹿委員から。

【羽鹿委員】 今も言われていましたおまもり手帳ですか。おまもり手帳。今も言うてましたわね。これを今後、65歳で持つておいたほうがええとか、70歳にするとか言うていましたけれども、これは実際言いますと、仮に40歳でもそれは倒れる場合はありますわね。それをどういうふうに。年齢を区切るのか区切らんのか。どういうふうに持つていったらええものか。

【石塚議長】 介護保険でも本当に必要な人は今40歳から使えるんですかね。

【羽鹿委員】 うん。でも、その人はまた別に、障がい者とかいろいろあるんやろうけれども、年齢をある程度決めてもらわんことにはこっちも回るのにね。

【徳永委員】 私、回っているのは、あまり年齢関係なしに今、回っていますよ。

【羽鹿委員】 なしに回ってるの。そうですか。

【徳永委員】 ええ。

【羽鹿委員】 一応私は、もう70歳ぐらいしか回っていないかな思うんでね。誰も彼もそういうわけにもいきませんので。

【徳永委員】 それと、そればかり固執するようですけども、リタイアになったら自分で身分証明できるものって案外持っていないんですよ。そうすると、写真もありますし、カード、結構、身分証明書の代わりになりますのでね。私はいいのかなと思って、その話もするんですけど。

【羽鹿委員】 私もわかりますねん。だけど、各民生委員でも委員さんがいますわね。それにどういうふうに対処しているのがいいかもいろいろありますので、ちょっとお聞きしたいんですけど。

【徳永委員】 そうですね。

【羽鹿委員】 ちょっとややこしいでしょう。

【徳永委員】 私はあまり年齢、境を作らなくてもええんかなというような気がしますけどね。それ、おのおの地域の問題がありますからね、何とも言うわんですけど。

【羽鹿委員】 まあまあ、それは先へ置いといてくれはったらよろしいですよ。

【石塚議長】 いいですか。では、徳永委員。

【徳永委員】 ごめんなさい、私も目が悪くて全然見えないんですけど、子どもの食育というテーマが今、出ているんですけども、これは老人になっても、お年寄りの方でもやっぱり食べ物というのは一番大事なものですので、全般的に考えていくのもいいのかなとは思うんですけどもね。今回のテーマがこういうテーマですから、そこまでは入れないでしょうけれども。

【石塚議長】 食育の子どものほうと、それから、高齢者は孤食とかの問題。

【徳永委員】 そうですね。

【本間委員】 遅れましたが。

【石塚議長】 本間委員。

【本間委員】 森井委員さんとちょっと重なってきますけれども、食育のところでは、やっぱり保護者への啓発というのが一番大事やと思いますね。ただ、方法が一番難しくて、何でも、学校でもそうですけれども、聞いてほしいと思う保護者が来られないんです。どんな形でもね。だから、例えば学校で、保護者会でこういうお話も一遍入れてみようかなと学校がされても一番聞いてほしい保護者は大体保護者会には来られないという。ここが一番学校教育の中で、いろんな啓発する中で一番難しいことと思うね。聞いてほしい人が来ない。でも、この食事に関しては、もちろん子どもさんに啓発するのも大事ですけども、やっぱり親、保護者やと思いますので、保護者への啓発というのは何らかの形で考え

ていただきたい。

【石塚議長】 はい、ありがとうございます。

そしたら、北村委員。

【北村委員】 私も今おっしゃったように、子どもの食育のところと、それを保護者の方に啓発したいです。

【石塚議長】 子どもにね。啓発。

【北村委員】 はい。

【石塚議長】 はい、大丈夫ですか。

【北村委員】 はい。

【石塚議長】 じゃ、大谷委員。

【大谷委員】 今おっしゃったような同じようなこと、お願いしますね。

【石塚議長】 いいですか。

それでは、石川委員。

【石川委員】 はい、ありがとうございます。一番最初に2025年に万博がやってきますということで、よかったなと思って、あの放送を見ていて、僕、思ったんですけどね。景気もようなんねやろうなと思ったんですけども、2025年で、石塚議長も社会福祉法人をお持ちなのであれなんですけれど、ちょうど団塊の世代が全て75歳以上になると言われている年とぴったり当たるんですよ。

【石塚議長】 徳永委員からも、その。

【徳永委員】 私もそれ、大変興味がありましてね。ちょうど私が1947年の生まれなんです。ちょうど高齢の高齢者で入るんですけども、それが今、言われているのが全国で800万人なんですよね。だから、そういったものをどうしていくか。これは地域も一緒に考え方だと思いますので、話を詰めて地域の中でしていければと思います。ただ、万博の同じ年の、今、話が区長のほうから話が出ましたので、ちょっとあれなんですけども。

【石川委員】 それを思っていてね。実際、担い手の部分で言うたら、景気よくなったら、景気のいいところにいろいろな人たちが働きに行きはるんですよ。福祉関係って景気の悪いときは逆に就職する人がたくさんおるんですけど、景気よくなったらあまり働く場所ではないんですよ。今でも担い手、結構、今の段階でもう足りなくて、うちとかも何ぼ募集しても人が来ないような状況になっている中で、このまま2025年に向けて行くと、景気はよくなるんやけれども、地域の中でそういう介護とか福祉のところを担ってくれる

ような専門職が多分、今でも不足なんですけど、必ず不足するやろうなと思うので。地域の今、取り組んでおられるような食事サービスとか子育ての活動もそうですけれど、地域の住民さん同士の支え合いの大切さというのをもっとアピールしていかないと、専門職に頼ったような福祉や介護のところだけを見ておくとおそらく回らなくなるので、もう少し、もっと地域の支え合いのところの大切さとか、今やれていることのすごさとか。少なくとも今、やってはって、すごい活動は残していったほうがいいなって思うんです。そういう支え合いの大切さみたいなのところが出ていけたらなとは思いますがね。

【石塚議長】　　ちょっといいですか。年金がどんどん遅れてくるでしょう。それで、やっぱり高齢者みんな働かんとあかんですよ。多分、今まで地域活動をやっていたぐらいなレベルの人はみんな、やっぱり働いてしまうんですよ。それで多分、地域に戻ってきてもサービス提供側じゃなくて、受ける側ぐらいな年齢とか体力とかになって帰ってくるので、もう本当に地域の担い手がこれからもっともっと不足するから、そこを期待してもらうのは結構辛いところがあるかもわかんないね。地域活動協議会の大阪市がやっぱり全ての人が対象ということで、もちろん、その理念はすばらしいと思うんですけども、今になって、やっぱりここで一生懸命で、その担い手とか、それから町会とか支援団体とか自治会とか、もっと頑張ってやってもらおうというふうにもなっているけれど、ちょっと厳しい時代になってきているかなと思いますね。実際、僕ら担い手として動いている中で、やっぱり、ちょっと感じる部分はあるんですけど。

【石川委員】　　有償の取組みをうちもやらせていただいているんですけど、有償と無償の取組みがあると、無償のボランティア活動をされている方って、やっぱり75歳前後から80歳ぐらいまでの方が多いんですけど、有償の活動になると、やっぱりそこから10歳ぐらい若くなるんですよ。

【石塚議長】　　そうですね。

【石川委員】　　65歳前後から75歳ぐらいまでの方ってなので、いろんな活動のメニューがあって、それこそ仕事にはならないですけど、そういう何かインセンティブがあれば動けるような方がおられたりするんやったら、そういうものも積極的に入れていくことで、これまでの地域の取組みとまた違うような枠組みのものも合わさって、一緒に進めたらええんかなと思ったりもするんですけどね。

【石塚議長】　　それを既存の組織の人たちが理解したらいいんでしょうけれど、結構抵抗を持っている人も中に。有償ボランティアの話あったでしょう。何でこんな有償やねん

てえらい怒る人もいてはったのも事実でね。

【石川委員】 おられますね。

【石塚議長】 かなり厳しい部分もあるかなとは思いますが。

【石川委員】 うちもその事業をやるときに会議をやったら、やっぱり、そのところで抵抗勢力もありましたので、難しいところもあると思います。

【徳永委員】 ボランティアというネーミングが有償とついたら、ちょっと違うんかなという気になるんですよね。

【石川委員】 有償の支え合い活動やと思ってくれはったらいいと思います。

【石塚議長】 やっぱり単価は半分になっているので、半分はボランティアで、半分はやっぱり、他に働きに行くのをちょっとやめてやるかというところなんですかね。

【石川委員】 そうですね。あと、専門職の休日もうまいこと動いてくれはたらなと思ったりもします。

【林副議長】 2025年になったら外国人労働者というのが。

【石川委員】 これがまた。ちょうどタイミングいいんですけど。

【石塚議長】 そうですね。

【林副議長】 施策もどうなっていくかですね。

【石塚議長】 実際雇うと、やっぱり文化も違うし、言葉も細かいところまでコミュニケーション取れないから結構厳しい部分はありますね。

【石川委員】 先生のところも入れてはりましたもんね。

【石塚議長】 ずっとここ10年ぐらいですけども、やっぱり、なかなか言葉の壁とかがあって続かないし、やっぱり戦力になるかいうたら、なかなかしんどい部分はありますね。ただ、やっぱり絶対将来的に入れんとあかんから、そのリーダーになる人間を育てようと思って、もうチャレンジして、チャレンジして、頑張っていますけれど、なかなかしんどい部分ですね。

【徳永委員】 今、コンビニはほとんどって言っていいほど多くなりましたよね。

【石塚議長】 そうですね。

【林副議長】 その労力が大変ですよ。本当に。

【羽鹿委員】 コンビニはしゃべらんでもええから。

【石塚議長】 そしたら、林先生、それで、ちょっと出ていないんですけど、在宅医療とか介護連携の取組みの話もここにあるんですよね。それも含めてちょっと。

【林副議長】 今、医療介護連携、医介連携というのを中心に動いておりまして、東成区の場合は結構、医療職とか介護職、多職種の方の連携は大阪市内でも第一線、進んでおりまして、結構その辺に関しては進んでいるんじゃないかなというのは自負しております。

それと、おまもりネットのことにに関してなんですけども、先ほど広める云々、何歳からどうか、医療にかかっている方に渡したらって話もありましたけども、一旦おまもりネットに入った方のネットのおまもり手帳の更新ですね。家に置いとく、ぽんと冷蔵庫のところに置いておくというだけで、なかなか内容が更新されないというところもちょっと問題があるかなと思いますので。その辺のところをちょっとどういうふうにして今後、今さっき石川さんが使うネットということをおっしゃいましたけれども、入ったらもうそれで終わりという感じではなくて、内容を更新していくというようなことにもちょっと重点を置いていかないと、あまり意味がない事業になってしまうんじゃないかなとは日ごろから思っておりますので、それを医療内容的には医師会がもうちょっと広報しますし、受診の時には持ってきてねとかそれぐらいのことは患者さんというか、事業に入っている方には勧めてもいいかなという気はしています。

【徳永委員】 今、先生から更新の話出たんですけれども、我々民生委員のところでそういうのも皆、発行しているんですけれども、私も人に見せるわけじゃないですけれども、特に年齢なんか、やっぱり、入ったときから随分たっていっちゃる人もいますから、毎年自動計算で年齢を上げるようなシステムに皆さんやっぺら思っていますけれども、そういう形で今、見守り活動をやっているんですけれどもね。

【林副議長】 そうですね。その内容を例えば個人情報とか言われると、日ごろから誰も見られなくなってしまいますので、いざというときはぱっと見られて安心なのかもしれませんけれども。

【徳永委員】 ただ、やっぱり相談があるというのは町会であったり、我々民生委員であったりしますので、それをオープンにする必要もないですわね。私の考え方は誰かがわかってないといかなんということ常日ごろ思っているんですけれども。

【林副議長】 そうそう。

【徳永委員】 でないと、今、先生がおっしゃっていただいたように、入ったらそれで終わりという考え方じゃなしに、それをうまく利用していくような方法を考えていかんといかなんかなというような気がするんですけれどもね。

【羽鹿委員】 それはサポーターさんがわかってはるでしょう。サポーターさんが。

【徳永委員】 いや、サポーターさんに言うても、やっぱり、更新していると……。

【羽鹿委員】 何かようやっってはるんやけどな、隣で。

【石塚議長】 いいですかね。こういう活動をやっているのは、プライバシーとか個人情報の壁というのはやっぱりちょっと感じる部分はあるんですね。

【徳永委員】 ただ、個人情報も去年でしたかね、変わったので、今は生命に関することについては個人情報はあまり考えんでもいいというようなことを、私、この前、勉強会で聞いてきたんですけど。それとあと、住居ですよ。そういったものを今まで全部個人情報、個人情報って言われているんですけど、今ちょっと違ってきていますので、その辺も把握した上で活動するほうがいいのかなどというような気がしているんですけどもね。

【石塚議長】 ただ、当然扱いをやっぱり注意しないと、変な取り扱いすると、またまたもとに戻るんで。

【徳永委員】 もちろん根底はそういうことなんですけれどもね。だから、命に関することで「あ、これは個人情報ですから要りません」とかというようなことにならないように、やっぱり、していかないとダメかなと思いますけどね。

【石塚議長】 それと、さっき、一番最初、冒頭に区長さん、2025年万博来ますということを書いて、僕らも興味あって、見たら、「いのち輝く未来社会のデザイン」で、後に、日本はやっぱり長寿社会なんやから、その長寿社会の強みを生かして、長寿でみんな健康でいい社会を作っていきましょうというのも1つのテーマにあったような気がするので、やっぱり私たちのこの部会とも結構関連するので。ちょうど徳永委員がおっしゃったように、2025年問題、そこら辺もちょうど重なるので、やっぱりこう。で、継続できる社会の構築ですか。やから、そこら辺全て絡んでいるような気がするので、やっぱり、しっかりとみんながつながって、勉強していけたらいいかなとは思っています。

何かこう言い残した意見はありませんか。大丈夫ですか。

それでは、皆さんのご意見がそろいましたので、意見を整理します。ホワイトボードをご覧ください。印をつけたものについて読み上げていきます。この赤のところがいいんですね。2025年担い手不足、地域の支え合いの大切さということで、年金支給年齢が上がるかもわからんということが一つ。それから、おまもり手帳の更新も重点的で、持っとうりゃなくて使ってもらおう周知へ。誰もが分かっているというのも重要と。誰かがかかわっている？ わかっている？

【徳永委員】 わかっているということですね。

【石塚議長】 わかっているということは大切。だから、更新も大事ということですね。だから、作った以上はしっかり使ってもらおうと。それがこっちの2点ですね。

それから、健康づくりに関しては、欠食児童に対する対策としては保護者への啓発がすごく大事じゃないかなと。それからあと、小中学校での取組みに関しては、食育の大切さを教育すると。その上に子どもにかかわらず、孤食をしている高齢者も含めて、やっぱり、そこら辺しっかり考えていきましょう。そのあたりでいいんですかね。一応、書かれているのはそういうことになっています。

これで部会報告シートをこれを参考に報告をしていただくということでいいんですかね。

【後藤課長代理】 はい。

【石塚議長】 はい、ありがとうございます。皆さんの円滑な議事運営にご協力いただき、ありがとうございました。ほんとうに活発なご意見が出て、なかなか充実したい会議やったのかなと思います。

本日の議題は以上で終了しましたので、区役所の方に進行をお願いします。

【後藤課長代理】 皆様、活発な議論をいただき、ありがとうございます。では、区長から一言。

【麻野区長】 最後あるって想定してなかったんですけど。本当にご議論ありがとうございます。3部会、今回あって、いろいろな議論ありましたけれども、やっぱり、東成区では福祉がすごく充実しているとか進んでいる地域だと思っています。さっき、確かに2025年の万博に向けてという話の中で、おもしろい話だなと思ったのは、景気がよくなると逆に福祉を担う人材が減って地域がしんどくなるという話もあります。ただ、やっぱり東成は本当にいい地域の強さがありますので、これをしっかりと2025年、あるいはその後も受け継いでいって、若干の形とかあり方は変わっていくんだと思いますけれども、やはりそこを、じゃ、地域は関係あれへんねんということは、これはあり得ないと思いますので、これまたしっかりと続けて、つないでいけるようにしていきたいなと思っていますので、また一つ皆様方、ご協力よろしくお願ひしたいと思っています。ありがとうございます。

【後藤課長代理】 石塚議長をはじめまして委員の皆様方にはスムーズな議事進行にご協力いただきまして誠にありがとうございました。本日、皆様方からいただきました貴重なご意見につきましては、今後の区政運営での参考とさせていただきます。引き続きご協力を賜りますようよろしくお願ひいたします。

なお、次回の区政会議は3月6日の水曜日を予定しております。詳細が決まり次第、ご

連絡はさせていただきますが、ご出席のほどよろしく願いいたします。

これをもちまして、平成30年度第2回東成区区政会議保健福祉部会を終了させていただきます。ありがとうございました。